



## 上原建設株式会社

「地域の守り手」として  
大雨・降雪・災害に対応  
地域から求められる企業に



下仁田町

住所 甘楽郡下仁田町大字川井196-2  
TEL 0274-82-3285  
Mail office@ue-ken.co.jp  
URL https://ue-ken.co.jp  
代表者 五十嵐 修  
設立 1964年11月18日  
資本金 4,800万円  
従業員 37人



### 企業紹介

上原建設(株)は「地域から求められる企業として社会に貢献する」ことを基本理念とし、総合建設会社として、地域社会のライフライン、防災・減災を目的とした構造物を造る土木工事、人々のコミュニケーションの場、日常生活において当たり前使用する建物を造る建築工事を数多く行っています。



### 経緯・背景

社会情勢が目まぐるしく変化する現代において「一人ひとりが安心して働くことができる職場環境を形成し、維持・向上させる」「持続可能な地域社会形成に寄与する」ことは、我々にとっても大切なテーマの一つであり、その思いはコロナ禍において益々強まりました。これらについて上原建設(株)は令和2(2020)年、SDGsに関する指針を策定、従来からの活動と関連付けて、様々な取組を実施しています。

## 社員の健康増進や教育支援 女性スタッフの視点生かし 現場周辺をパトロール

### 具体的な取組・成果

#### 【取組例】

- ・健康経営優良法人認定事業者(経産省・厚労省認定)として、健康増進に取り組んでいます。
- ・全ての社員が定期的な健康診断を受診、健康管理に努めています。
- ・研修会/講習会への参加費、資格取得に関する教育費、受験費は会社が負担、技術・知識の向上を図ります。



道路の除雪作業

- ・エコアクション21(環境省策定)、環境GS(ぐんまスタンダード、群馬県認定)の登録・認定事業者として、環境負荷低減に取り組んでいます。
- ・ISO9001:2015認証登録事業者として、構造物施工の徹底した品質管理に努めています。



崖崩れ復旧作業

- ・女性スタッフにより現場周辺のパトロールを行い、作業中、近隣住民が清潔感や安心感などが得られる現場運営を心掛けています。
- ・大雨/降雪/災害発生時には群馬県、自治体と連携し速やかな復旧に努めています。

- ・地域の清掃ボランティア活動を行うことにより、地域住民の憩いの場を守っています。
- ・講師として地元学校への授業に参加、地場産業や地域の特性を共有することで、地域で活躍する人材育成に協力しています。

#### 【成果】

取組を明文化し展開、実施することで、一人ひとりが「継続すべきこと」「変えなければならないこと」を見つめ直すきっかけが生まれ、ベテラン・若手を問わずアイデアが出る機会が増加しました。日頃取り組んでいることを各々観察し状況判断を行う。それらに基づき意思決定をして行動に移す。そしてその効果を検証し、今後の活動展開に繋げてまいります。

### 当社にとってのSDGsビジョン

- 実績が自信となりモチベーションアップにSDGsに関連する様々な取組を積み重ねる中で、各々が能力を発揮できる分野を発見、職場や地域環境の改善活動に結び付け、その実績を残していくことは、スタッフ一人ひとりのモチベーションアップになると考えています。これらについて、当社ウェブサイト、SDGsページにて明確に発信しています。  
<https://ue-ken.co.jp/sdgs>

### 今後の展望と求めるパートナー像

- 建設に捉われない活動展開を「地域課題解決企業」へ発展を目指します。そのため、各々「自分自身また地域のためにできることは何か」自らに問いかけ行動する必要があります。個々の成長が企業の成長に繋がり、持続可能な地域社会形成に繋がることを意識し、未来を見据えつつ今できることをコツコツと取り組みます。





## オーラ産業株式会社

月産100品目を供給  
塗料の原料見直し、  
環境問題に向き合う



● 邑楽町

住所 邑楽郡邑楽町大字新中野123-2  
TEL 0276-76-8778  
Mail ora-sangyo.tatebayashi@s4.dion.ne.jp  
代表者 戸ヶ崎 徹  
設立 1995年4月  
資本金 1,000万円  
従業員 54人

### 企業紹介

当社は昭和56年の創業の樹脂塗装の専門メーカーです。主な分野は自動車、遊戯、建材、家電です。邑楽・館林に拠点を4か所構え月8万個を生産。拠点ごとの生産機能の強化を図るだけでなく災害等の工場停止リスクに備える取組も顧客から評価を得ています。人・ロボットそれぞれの得意を生かすプロセスを強みとし「1社1技術」の選定や、顧客から当社のQCD達成に対し多くのサプライヤー表彰を受けています。従業員のやりがいと、事業継続および成長を目指しています。

### 経緯・背景

塗料には外観を美しくするだけでなく、遮熱や錆止めなど多様な用途があります。その一方で大気汚染の原因である揮発性有機化合物（以下、VOC）や温室効果ガスであるCO2の排出量を増やすといった問題をはらんでいます。塗料の原料となる化学物質が健康被害を及ぼすなど、塗料および塗装に伴う健康被害や環境問題に対して、対策が求められています。

## 水性塗料の実用化へ 実証実験し、新技術を確立 均一化された塗装の実現

### 具体的な取組・成果

SDGsに貢献するため、自動車生産工程において排出されるVOC、CO2による大気汚染および地球温暖化への影響抑制に向けた塗装技術の取組では、有機溶剤系塗料ではなく、水性塗料の使用が求められます。しかしながら、水性塗装は油性と比較して仕上がりが品質に対する難易度が高いです。その理由は、塗料の溶媒の乾燥速度が塗装品質に影響を及ぼすところ、溶媒に水を用いる水性塗装では乾燥が遅く、塗装にむらができやすいためです。



高い品質を追求した塗装品

この水性塗装の試作および量産での実用化が当社へ求められています。当社では、群馬産業技術センター、塗料メーカーの協力のもと、水性塗料の実用化に向けて、実証実験を行い、新技術の確立を行っています。水性塗料では、塗装むらの発生を抑えるために、より均一な厚みの塗装被膜の管理が要求されます。現状、熟練者は、一般作業者では実現できない微妙な調整を加えながら高度な品質を実現しています。



ロボット制御により  
均一化された塗装を実現

そこで、実際に塗装した時の塗膜測定を行い、データ化することで、熟練者による水性塗料独特の微妙な調整が見える化する塗装技術の確立を目指しました。実験では、立体的な形状を持つ製品に対して、塗装経験10年以上の熟練者、5年程度の一般作業者にて塗装実験を行い、膜厚のばらっきの評価を実施。その結果である評価データを水性塗装の品質が保たれる管理値として指標化し、ロボット制御のティーチングに反映させることで、ばらっきの小さい均一化された塗装を実現しました。



従業員がやりがいを感じられる職場を目指している

### 当社にとってのSDGsビジョン

2020年以降の温室効果ガス排出量削減などに向けて発行された「パリ協定」をはじめ、世界では脱炭素化への流れが加速。その中でも大きな役割を担っているのが、電気自動車（EV）へのシフトなどです。国内メーカーだけでなく世界に向けても当社技術によるスピードと高品質の塗装自動化のマーケット獲得を目指しています。

### 今後の展望と求めるパートナー像

当社では、次世代の環境を最も重視しており、さらにはAI技術などデジタルを生かした安全・安心ブランドの提供を目標としています。今後さらに厳しくなる世界各国の燃費規制や米国ZEV規制、自動運転技術など安心・安全のブランドを将来ビジョンとしているユーザーとの協働を目指しています。





## 群馬ヤクルト販売株式会社

群馬を元気に 地域とともに  
～共助社会の担い手として～



前橋市

住所 前橋市高井町1-7-1  
TEL 027-251-8960  
Mail k\_oyama@gunma-yakult.co.jp  
URL https://www.gunma-yakult.co.jp/  
代表者 塩谷 輝行  
設立 1971年5月  
資本金 41,640千円  
従業員 893人

WEBサイト



### 企業紹介

県内33カ所のサービスセンターから、ヤクルトレディによるヤクルトのお届けと、直販ルートによる店舗・自動販売機を通じて、お客さまへヤクルト商品を提供しています。



### 経緯・背景

私たちは、「共助社会の担い手」として、健康と美のお届けを通じて地域の方々と助け合い、自治体、消防・警察、各種団体と連携しながら、地域づくりを行っています。



## 私たちの使命は「1人でも多くのお客さまに健康と美をお届け」すること

### 具体的な取組・成果

- ①対話による健康のお届け  
ヤクルトのこだわりは、直接商品をお届けすることです。対話を通じて、自分の言葉で価値をお伝えしています。
  - ・ヤクルトレディによるヤクルトのお届け
  - ・店頭で健康飲料紹介
  - ・お取引先へ納品・提案



ヤクルトのお届けと健康情報の提供

- ②社会貢献活動  
地域活動への協力や社会貢献活動に取り組んでいます。地域のことをよく知るヤクルトレディは、地域の見守りの担い手として期待されています。また、公民館や病院・高齢者施設・学校・保育施設など、幅広い年齢にあった健康教室も実施しています。
  - ・高齢者施設等への寄付
  - ・認知症への取組
  - ・野球教室の開催
  - ・健康教室の実施



ヤクルトレディによる地域の見守り

- ③働きやすい環境づくり（健康経営の実現）  
従事者がやりがいをもって働けるよう、労働環境の整備に取り組んでいます。
  - ・キッズルームの整備
  - ・救急講習の受講
  - ・防災訓練
  - ・お届け車両の配備



スポーツに取り組む社員へのサポート

- ④協定に基づいた県市町村との取組  
県及び8市6町6村と協定を締結し、自治体と連携・協力して健康・福祉・教育・防災・まちづくり等に取り組んでいます。(令和5年2月現在)



地域づくりに関する包括連携協定

### 当社にとってのSDGsビジョン

全従事者が20年以上前から取り組んでいる“使命”には、SDGsに通じる想いが込められており、特に関係の深い6つの目標があります。今後も“使命”に沿った活動を行い、公助と共助をつなぐ担い手として共助社会の実現を目指し、地域とともに歩んでまいります。

### 今後の展望と求めるパートナー像

共助社会を目指し、一緒に様々な社会的課題の解決を目指す、企業・団体等です。





学校法人光明学園 認定こども園  
すみよし幼稚園

個性豊かな子供たちの育成  
様々な子育て支援を通じて  
住み続けたいまちへ



伊勢崎市

住所 伊勢崎市馬見塚町831-1  
TEL 0270-32-1069  
Mail sumiyosi@oregano.ocn.ne.jp  
URL https://sumiyoshi-kg.com  
代表者 柳澤 慶仁  
設立 1952年5月28日  
職員 30人



企業紹介

当園では創設以来、地域のお子様のために一貫した幼稚園教育を行っており、認定こども園となった今も受け継がれています。教育目標に「1.明るく元気に活動できる子」「2.自分で考え自分で行動できる子」「3.心豊かな子」を掲げており、豊かな自然に囲まれた環境の中で様々な体験を通じて多くのことを学ぶことが当園の大きな特長の一つです。「質の高い教育」を目指し、私たちは日々努力を続け、魅力あふれる個性豊かな子供たちの育成に努めています。

経緯・背景

SDGsという話題が本格的に出始める前から、当園は園庭で自然に触れ、給食や野菜栽培などで海や陸の豊かさを知り、水道の水を使いすぎないことや、ごみの分別を行ってまいりました。昨年度からはプリントをペーパーレスにするなど、より意識して行っています。また、地域のお子様達に向けて一時預かり保育や未就園児教室を行っていくことで、住み続けられる町づくりに貢献できるよう努めています。これからも地域のお子様達に「質の高い教育」を行っていくことを目指しています。

食育活動を通じて、  
自然の尊さや貧困問題を  
考える

具体的な取組・成果

すみよし幼稚園は「外で遊ぶ」ということを非常に大切にしており、戸外遊びの中から植物に触れ、虫に触れ、幼少期ならではの自然とのふれあいから自然の尊さを学んでいます。その中でも特にSDGsと関連が深いと感じているのは、例年地域の畑をお借りして行っているじゃがいも掘りです。認定こども園への移行に伴い完全給食となった中で、掘ったじゃがいもは給食で食べています。こうした食育活動なども積極的に行っていくことで、子供たちは日々自然のありがたみ、貧困問題について考えています。



じゃがいも掘りの様子

昨年度からプリントをペーパーレスにしたことをきっかけにSDGsについて意識して取り組んでいます。県が行うSDGsの研修に職員が出席したり、SDGsの紙芝居を購入して読み聞かせをするなど、日々の保育の合間に意識的に子供たちにSDGsを教えていけるよう工夫しています。



SDGsの紙芝居で読み聞かせ

また、様々な事情から一時的にお子様を預けたいという方や、教育活動を体験したいという方に向けて一時預かりや未就園児教室なども行っています。年々ニーズが高まっている背景を見ると、子育ての面からこの地域がずっと住み続けたいまちとして皆様に思っていただけのためには、これらの子育て支援活動は不可欠なのではないかと感じています。



いろいろな国の料理を楽しむ

当社にとってのSDGsビジョン

次世代を担う子供たちに幼少期から物や自然を大切にするという心を育てていくことで、持続可能な未来を作るアイデアをたくさん持った人材を育成していきたい。

今後の展望と求めるパートナー像

今後はICTをより多く活用して職員が働きやすい環境作りに努めていきます。また、パートナー像はこの活動を学生さんなどに広く周知していただき採用活動などに役立てていきたいと思っています。





## 株式会社しらゆり 医療と福祉のなんでも相談室 しらゆり訪問看護ステーション

「誰も置き去りにしない」  
地域の課題の解決へ  
在宅医療の要を目指す



高崎市

住所 高崎市保渡田町1423-2  
TEL 027-373-630  
Mail info@shirayuri-kango.co.jp  
URL http://www.shirayuri-kango.co.jp/  
代表者 関根 京子  
設立 2021年1月26日  
資本金 100万円  
従業員 7人

WEBサイト



### 企業紹介

令和3年4月より、地域の課題を解決できる訪問看護ステーションを設立しました。町の保健室の様な誰でもいつでも相談できる体制をとり、「医療と福祉のなんでも相談室」も兼ねています。医療と介護の保険、サービス等、お困りの際はいつでもご相談ください。看護師4名、理学療法士1名のチームで、「誰も置き去りにしない。住み慣れた我が家(地域)で安心して生活できるまちづくり」を着実に、丁寧に、看護の力で構築していきたいと考え、日々、業務に取り組んでいます。

### 経緯・背景

現代は、超高齢化、コロナ禍で、激動の社会を迎えています。難病、がん、認知症、心の病等、更に、独居、介護離職、虐待等、訪問看護は多岐にわたるサポートが必要な時代となりました。その為、在宅医療を中心に、医師とスタッフのチーム力により対応していく必要があります。訪問看護は医療保険、介護保険で主治医が訪問看護の利用を認めた場合、ご利用することができます。安心して穏やかに最期まで生活を送るには訪問看護が必要となります。これからも質の高いサービスを目指してまいります。

## 住み慣れた家で最期まで 看取り介護をサポート 緊急時の訪問、相談も受付

### 具体的な取組・成果

設立して1年6か月で看取りを35名実施しました。がん末期のご利用者様、病院から「家に帰りたい」とのご希望で、退院して2日目に家族に困まれながら息を引き取ったご利用者様。猫が大好きで、猫が心配で、家に最期まで一人で過ごしたご利用者様。当訪問看護の看取りの考え方は、関係性があまりよくない家族の場合、看取りのときだからこそ、家族関係が少しでも修復できるように見守り、支援をしております。また、看取り介護を初めて経験する家族が後悔なく、少しでもやり遂げることができるようにサポートしています。

「医療と福祉のなんでも相談室」では、現在約20名の方から相談を受けました。精神科の若いご利用者様は事務所まで足を運んでいただき、人との関わりを通して、社会復帰を目指しております。

緊急時の訪問、ご相談も受け、緊急訪問が必要なときは、休日・夜間でも訪問を実施しています。

これからも様々なケースから、謙虚に学び、看護の振り返りをしながら、看護のレベルを向上させていきたいと考えています。



訪問時の支援の様子



リハビリの様子

### 当社にとってのSDGsビジョン

- 希望の2030年に向けて
  - ・誰一人取り残さない置き去りにしない看護の提供
  - ・人生最期を迎える方々の最期の想いを支援する看護を提供
  - ・地域全ての方々の健康と幸福をサポートする看護を提供
- 指針
  - 慈悲と励ましの看護で生命の尊厳を探索

このビジョンを掲げ、看護の力で住みよい町づくりを目指す

### 今後の展望と求めるパートナー像

高齢化に伴い、訪問看護師、ケアマネジャー等、少ない人数で高齢者を支える時代です。その人に合った生活を医療と介護のチームで支えてまいります。住み慣れた家で最期まで生活できる仕組みをつくるのが当事業所の役目と考えています。地域の方々に頼られる社会を構築し住み続けられる町づくりに取り組んでまいります。





## スバル工業株式会社

新たな取り組みを続け  
未来につながる製造業を  
目指します。



館林市

住所 館林市日向町841-1  
TEL 0276-74-6746  
Mail info@subaru-industries.com  
URL https://subaru-industries.com/index.html  
代表者 野村 秀則  
設立 1977年2月25日  
資本金 1,000万円  
従業員 14人



### 企業紹介

当社は1977年の創業以来、医療・自動車・産業機械など、多種多様な金属部品の切削加工に従事しています。自動旋盤(NC旋盤)による高精度の切削加工技術を用い、多品種・少量のニーズに応えることのできる企業として、群馬県立群馬産業技術センターとの共同研究を踏まえ、新しいことへチャレンジしながら創造性豊かなものづくりに取り組んでいます。

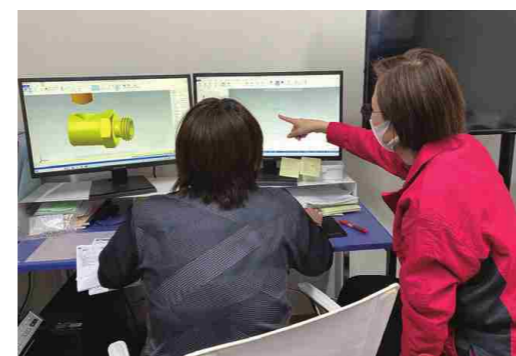
### 経緯・背景

製造業での人手不足が続く背景として、技術習得の難しさ、労働環境の不平等などが問題となっています。熟練技術から技術の標準化へ。熟練技術者から外国人労働者へ。フルタイムからパートタイムへ。デジタルツールを活用しながら作業環境・働き方をイノベーションし、働きやすい環境を提案・実現していくことで、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)に繋がっていくと考えています。

新しいことへの好奇心で、  
製造技術を皆の手で  
創りあげていきます。

### 具体的な取組・成果

スバル工業では、自社独自のシステム構築によるデータベース化を進め、様々なデータをスムーズに共有することで、作業の効率化・生産性の向上・品質の向上を目標に、お客様のニーズに素早い対応が可能となるよう取り組んでいます。CAD/CAMによるプログラム作成は、干渉チェックのパソコン上でのシミュレーションが可能であり、作業者が安心・安全に作業を行うことができるようになりました。NCオペレーターとCAD/CAMオペレーターで作業分担することで、効率UP・生産性の向上にも繋がっています。一人の作業者に作業が偏ることの無いよう、フルタイム、パートタイムにかかわらず従業員全員にCAD/CAM習得の機会を設けました。これは、スキルアップの指針となり個々のモチベーションにもなっています。



CAD/CAM トレーニング

また、現場作業の教育では、現行の手順書を動画に置き換えホロレンズを活用して実際の作業を皆で確認し合うなど、外国人労働者でもわかりやすく覚えられるように新たな取組にチャレンジしています。



ホロレンズを使用した取り組み



ホロレンズによってMR(複合現実)を体験できる



現場作業員のディスカッション

### 当社にとってのSDGsビジョン

SDGsにおける【持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワーク】を重ね、当社の企業理念である【創造・協調・共有】をもとに、個々の成長と働きやすい環境を皆で考え企業の発展に邁進してまいります。

### 今後の展望と求めるパートナー像

ものづくりにおける概念の見える化をデジタル技術を活用して取り組む企業と協調・共有し共に成長を目指します。





群馬支社



日比谷本社

一生涯のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group

## 第一生命保険株式会社

## 群馬支社

自治体や団体と連携し、  
地域の課題解決の一助に  
SDGs 普及活動を展開



前橋市

住所 前橋市表町2-2-6 前橋ファーストビルディング3F  
TEL 027-224-6227  
URL <https://www.dai-ichi-life.co.jp/>  
代表者 野田 強  
設立 1902年9月15日  
資本金 600億円  
従業員 580人

WEBサイト



### 企業紹介

1902年日本で最初の相互主義による保険会社として設立。創業以来変わらぬ「お客さま第一主義」の理念に基づき、「一生涯のパートナー」として保険販売にとどまらず、人々の幸せの実現、地域社会への貢献に努めています。群馬支社においても、上記理念に沿い、自治体や経済団体等と包括連携協定を締結し、地域課題解決の一助となる地域貢献活動を展開し、その他SDGsパートナーシップBOOKを作成・お届けし、地域のみなさまへのSDGs普及活動を展開しています。

### 経緯・背景

生命保険事業は社会性・公共性の高い事業です。当社は生命保険事業と親和性のある3つのテーマ（①健康の増進 ②豊かな次世代社会の創造 ③環境の保全）を掲げ、当社ならではのノウハウやリソースの活用など、独自の価値提供により、社会課題の解決に挑戦しています。私たち群馬支社は、地域が抱える社会課題を聞き、その解決の一助となることで、地域の人々が明るく健康的な生活を送り、緑あふれる環境の下で、全ての世代が生き生きと暮らせる豊かな社会づくりを目指します。

## 尾瀬の環境保護へ 県民アンケートを実施 クリアファイルの回収も

### 具体的な取組・成果

これまでの取組の主な内容について以下に列記をいたします。

- 群馬県の宝である尾瀬の環境保護に資する活動
- ・県との狩猟フェスティバルへの協賛とお知らせ活動の実施
- ・ふるさと納税を活用した県（環境森林部）への人財派遣
- ・尾瀬活性化のため、尾瀬保護財団と連携した群馬県住民対象のアンケート収集活動の実施（約12,000枚の回答をいただき、連携済）

当該活動の際、プラスチックのクリアファイルを使わず、地元企業とコラボして作成した紙素材のファイルに尾瀬の写真を掲載したものを使用し、SDGsの取組の普及宣伝活動（地元の漫画家によっていただいたSDGs漫画やSDGsパートナーシップBOOKのお届け<2020年度から継続>）を並行して実施。SDGs漫画は当社ロゴと協定締結自治体の市町村章を入れて共同活用しています。

### ●SDGs普及活動の実施

- ・本社講師による中小企業向けSDGs講演：前橋商工会議所（緑水会45周年記念式典）／渋川グリーンロータリー等
- ・SDGsアンケートの実施（法人向け）：2021年度第一弾2,965社、第二弾1,749社に回答いただき、連携済。その他マスコミ各社と連携し、上毛新聞社・群馬テレビ等にて取り上げていただきました。

### ●その他の地域貢献活動

- 馬場川通り沿いのまちづくりSIB投資の実施（まちづくり分野では全国初のモデル投資となる）
- 産業振興・街の活性化：高崎お肉の祭典／バルストリート/eスポーツ（gespo★Party 2期連続）等メインで協賛し、その普及活動に努めました。
- 協会けんぽとのコラボ：生き活き健康事業所宣言（健康経営）の普及活動に取り組み、約450社のエントリーをいただき、現在も協力活動を継続中。合わせて、無料の社会保障セミナーを実施し、健康経営に取り組む必要性の教宣活動も行っています。



担当地域内の学校で消毒作業をサポート



地域のみなさまとともに清掃活動

### 当社にとってのSDGsビジョン

第一生命は「第一生命グループ企業行動原則（DSR憲章）」の一つとして環境保護の取組を掲げています。

社会・経済の発展と地球環境との調和を目指し、持続可能な社会の実現に寄与するため、「環境基本方針」を制定し、環境負荷低減と環境保護・保全に社員一体となって取り組んでいます。

### 今後の展望と求めるパートナー像

本業の特徴である【FACE TO FACE】の営業展開と法人個人を問わず幅広い取引層を生かし、さまざまな地域貢献活動や普及活動が実施できるのが特徴です。「群馬の地域のために何ができるかを考え、できることを取り組んでいきたい」という考えに共感していただける方々とさまざまな活動を展開していきます。





## 株式会社タノ製作所

### DX化を推進し技術力向上 自動車業界の大変革期に チャンスを生かす



高崎市

住所 高崎市吉井町池779-13  
TEL 027-387-2477  
Mail n-kitamura@tanoss.jp  
URL http://tanoss.jp  
代表者 片野 真吾  
設立 1972年7月1日  
資本金 3,000万円  
従業員 170人



#### 企業紹介

##### ■自動車部品製造50年余り

当社は、自動車の部品を製造している企業です。厳しい環境の中でも、快適で活気のある職場をモットーに業務に取り組んでいます。自動車のドアミラー、インナーミラー、各種ランプ、内装部品、機能部品の金型製作から成形、完成品組立まで対応し、それらの部品をあらゆる自動車・トラックメーカーに納入しています。お客様の求める「高品質」「短納期」「低コスト」に高いレベルで応え、世界に通用する企業を目指していきます。

#### 経緯・背景

##### ■激変する自動車業界

自動車業界では「CASE」のもとに、100年に1度の大変革期を迎えています。自動車は単なる移動手段から、サービスを伴うモビリティとして新しい価値を創出します。これは製造業にこれまでにない変革をもたらし、また多くのビジネスチャンスが生まれています。新しい市場の獲得に向け、DX化を推進し技術力を向上させることが、このチャンスを生かし、会社の次なる成長に繋がると考えています。

## IoT活用で不良率削減 出荷検査の見える化も実現 研究成果を地域に広める

#### 具体的な取組・成果

●地域未来牽引企業としての役割を果たします  
2020年に経済産業省から「地域未来牽引企業」として選定されました。地域経済を牽引するため、会社の継続的な発展を目指しています。自動車業界を取り巻く環境は「CASE」により今激しく変化しています。生き残るためにはDX化を進め、IoT技術を活用し、業務の効率化を図ることが必須の条件と考えています。デジタル技術開発は、群馬産業技術センターとの共同研究で推進しており、その成果を地域企業に広める活動にも積極的に参加しています。

●当社のDX化の取組(群馬産業技術センターとの共同開発)

##### ◇成形条件の見える化(IoT活用)

成形機や付帯の温度調整設備等の検出する製造情報をIoTでデジタル情報として収集し、不良発生時の状態を特徴化させ、成形機の制御にフィードバックするIoTシステムを開発しました。従来は、不良発生の原因分析を指令値で行っていましたが、実績値での分析を可能にしたことにより不良発生のメカニズムを正確に捉えることができるようになりました。これにより不良率の削減の大きな効果がありました。



DX・IoTデータを活用して不良削減に向けた成形トライ

さらに異常値の検知で、設備不良発生の未然防止にも役立っております。

##### ◇検査デパーチャーの導入

リアルタイムで出荷検査の進捗を誰でも見る事ができ業務効率化が図れました。また、不良品発生の早期発見にも役立ち、生産ロスの削減にも役立っております。

##### ◇流量ウォッチャーの開発

金型の冷却水の状態の見える化し、ロッド不良発生の未然防止を実現。

##### ◇今後もDX化を強力に推進していきます

現在は生産管理システムのDX化を推進中。一層の業務効率化を図り、強靱な企業体質を実現し、継続的な発展を可能にし、地域経済の牽引役としての責任を果たしたいと考えております。

#### 当社にとってのSDGsビジョン

##### ●地球を守ろうをモットーに

IoT・DX化を推し進め、業務の効率化を実現し継続的な発展を可能にする企業を目指します。

資源を大切にし、地球にやさしい企業を目指します。

省エネ、食品ロスの削減、ごみの削減、エコ通勤等、全従業員で自分にできるエコを実践しています。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

##### ●ものづくりを通じて社会へ貢献

ものづくりを通じて社会へ貢献し、持続可能な社会の実現に資する企業を目指します。

専門分野の技術力向上を図り、高品質、高付加価値の製品を社会に提供し、継続的に発展できる企業を目指します。

地域社会・経済の牽引役として従業員を大切に、誰もが働きやすい労働環境を実現していきます。





## 株式会社とりせん

### 安全で新鮮な食料品提供 次の100年に向け サステナブルなスーパーへ



館林市

住所 館林市下早川田町700  
TEL 0276-74-2121  
Mail customer@torisen.co.jp  
URL https://www.torisen.co.jp/  
代表者 前原 宏之  
設立 1948年2月1日  
資本金 10億4,600万円  
従業員 3,123人



#### 企業紹介

群馬県内28店舗を含め、61店舗を展開するスーパーマーケットです。「このまちの笑顔をふやそう。」をスローガンに、安全で新鮮な食料品と日用品を、お求めやすい価格でおお客様にご提供いたします。また、地域の笑顔を広げる取組の一環として、環境に優しい店舗づくりを推進するとともに、「食」を通じて食べることの大切さや正しい食生活への理解を深めてもらう食育活動を推進しています。

#### 経緯・背景

明治45年に鶏肉・鶏卵の卸を生業とする「鳥仙商店」として創業以降、総合食品卸、小売への転換、セルフサービスの導入、スーパーマーケットの多店舗展開と、時代の変化とおお客様のニーズに対応してきました。地域の方々と共に歩み支えられてきた100年。「NEXT100」を合言葉に、次の100年に向けてサステナブルなスーパーマーケットを目指します。

## 食育推進や買い物弱者支援 社会貢献活動に力 従業員や環境にも優しく

#### 具体的な取組・成果

- 人事関係
  - ・労働災害無事故店舗の社内表彰制度の導入。
  - ・定期健康診断実施、深夜業務従事者への定期健康診断実施。
  - ・目標面接制度など各自の目標達成に向けた人事制度。
  - ・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備。
  - ・復職エントリー制度の導入。
  - ・ハラスメント相談窓口の設置。
  - ・インターバル制度（退勤から翌日の出勤までのあいだに、一定時間以上の休息時間を確保する制度）の導入。



小学生の食育体験ツアー

- 環境関係
  - ・食品残渣を堆肥化し、その肥料を使った野菜を取り扱っている。
  - ・電力監視装置の配備でデマンド管理。
  - ・レジ袋削減のためレジ袋の無料配布中止とマイバッグ、マイバスケットの推進。
  - ・ノントレー包装機の導入。
  - ・環境に配慮した商品の取扱い。
  - ・食品ロス削減のため予約販売の強化。
  - ・再生エネルギー（太陽光パネル設置）の活用。
  - ・資源物の店頭回収と資源化センター運営によるリサイクルループの確立。

- 社会貢献・食育関係
  - ・食育推進活動の実施。（食育体験ツアー、たべるのはなし教室、収穫体験、料理教室、工場見学など）
  - ・買い物弱者支援として「移動スーパーとくし丸」事業の実施。
  - ・災害時の物資支援、義援金寄付。
  - ・自治体、警察署との連携（連携協定、災害協定、見守り協定など）。
- サービス
  - ・地場野菜コーナーの設置。
  - ・バリアフリーな店舗づくり。
  - ・思いやり駐車場の設置。
  - ・キャッシュレス決済サービスの推進。



移動スーパーとくし丸

#### 当社にとってのSDGsビジョン

創業100年を経て、「NEXT100」を合言葉にサステナブルなスーパーマーケットを目指します。私たちの経営理念「商業を通じて地域社会のおお客様の為に奉仕する。」とSDGsの取組を重ね、17の目標にチャレンジします。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

次の100年に向け持続可能な社会を実現するために、ステークホルダーとともに、現在行っているSDGsの取組を推進していきます。そして、地域の笑顔を広げるスーパーマーケットとして、更なるサービス向上に努めていきます。